

景品付きクイズチラシ切迫る！

大好評の景品付きクイズチラシ「クイズで考える日本の医療」の応募締め切りが迫っています。まだ応募用紙をお持ちの医療機関は、速やかに協会までご返送ください。

景品付きクイズチラシは、日本の医療と社会保障を取り巻く問題を、クイズ形式で分かりやすく患者さんに知ってもらえる毎年恒例の企画です。応募された方から抽選で100名様にグルメ景品をプレゼントします。

今回は15年11月～16年1月の日程で、「日本の医療費」をテーマに実施しました。今年3月～5月にも2ndシーズンを企画中です。多くの医療機関のご参加をお待ちしています。

クイズで考える日本の医療
医療費って高いの？安いの？

3月～5月開催の期間中から、抽選で**100名様に、グルメ景品をプレゼント**します。

1. 景品付きクイズチラシを医療機関に配布していただく。2. クイズを患者さんに読んでいただく。3. クイズの答えを当選者リストに記入していただく。4. 抽選で100名様にグルメ景品をプレゼントする。

2016年11月～2017年1月開催の「日本の医療費」をテーマに実施しました。今年3月～5月にも2ndシーズンを企画中です。

景品の応募用紙に記入して返送ください。

兵庫保険医協会 TEL:078-393-1801 FAX:078-393-1802

ラジオ関西番組 出演者大募集！
「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう」内コーナー
『医療知るう！』

毎週木曜19時25分頃から
AM558 kHz（但馬放送局1395 kHz）
医療の話題から趣味のお話まで
出演者募集中です
出演のご希望は
TEL：078-393-1807
（政策部）まで



パーソナリティー
寺谷一紀さん

協会ホームページをご活用ください！
<http://www.hhk.jp>

協会はホームページで行事のご案内や研究会の抄録、県下各地の活動やニュースなど多彩な情報を発信しています。診療報酬改定の特設サイトも設置し、最新情報をいち早くお知らせしています。また、Q&Aの掲載やWebでの問い合わせ受け付けもご利用いただけます。ぜひご活用ください。

兵庫県保険医協会 286号 2016年1月25日 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

阪神・淡路大震災から21年

「震災語り継ぐ」市内各地で企画



震災記念碑「明日へわがまち」の解説を受けるウォーク参加者

阪神・淡路大震災で発生した大規模火災により焼け野原となった長田区の21年目の姿を知ってもらおうと「1・17メモリアル21年目の長田 ひと、街、くらしメモリアルウォークと交流」が行われた。市民ら115人が参加し、神戸支部からは松岡泰夫評議員が参加した。このメモリアルウォークは、神戸支部も参加している震災復興長田の会が主催し、毎年開催している。

参加者は、巨大な再開発事業で商業ビル、マンションが立ち並ぶものの、テナントには空きが目立ち、人口も震災前と比べ減っており、かつてのにぎわいはほど遠い街の姿を見学した。

県と神戸市が、地区内に最大1000人の職員が勤務する新たな庁舎ビル建設計画を打ち出したことに対し、参加者からは「市は経済効果を謳っているが、地元商店街で買い物をするかは疑問」な

どとの意見が出された。

感想交流では、松岡先生が「慣れ親しんだ長田の街を歩き、改めて思うことは、街はにぎわいを取り戻していないことだ。地域住民に寄り添わない行政の姿勢が見て取れた。市民に暖かい行政に変えなくてはならない」と感想を述べた。



ウォークに参加した松岡泰夫評議員（右）

開業医手作り 健康情報テレホンサービス
月替わり健康情報 ☎0120-979-451

1月のテーマ

- 月曜日 太ももの付け根の鼠径ヘルニア
- 火曜日 外食で気をつけること
- 水曜日 膵臓がんの話
- 木曜日 繰り返す女性の膀胱炎
- 金土日 こどもの発達の遅れ

2月のテーマ

- 月曜日 自然分娩と帝王切開
- 火曜日 歯と歯の間の清掃
- 水曜日 保険でできる形成外科
- 木曜日 太ももの付け根の鼠径ヘルニア
- 金土日 全身に効く貼り薬



支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療に関わることや、主張、趣味のお話などを協会までお寄せください。

☎ 078-393-1807 / FAX078-393-1802
e-mail kuriyama-h@doc-net.or.jp

神戸支部担当栗山まで

健康と医療について語り合う会

自分の体に向き合ってがん検診を



（左）神戸協同病院副院長の石川靖二先生が講師を務めた
（右）聴覚障害者の方たち30人が参加

神戸支部も協力する聴覚障害者の医療を考える会（健康と医療について語り合う会）は11月26日、あすてっぷKOBE で学習会を開催した。石川靖二先生（神戸協同病院副院長）が「乳がんに関する～これが最新の備え～」のテーマで講演し、市民、聴覚障害の方たち30人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

今回初めて「健康と医療について語り合う会」に参加させていただきました。テーマの乳がんは、女性として、そして年齢的にも興味がありました。

私は義母を大腸がんで亡くしたので、がんには怖いイメージしかありませんでした。手術の後の化学療法で苦しんでいた義母の辛さ、本当に恐ろしい病気だと思います。

しかし、石川先生の講演を聞き、二人に一人はがんになる。誰がかかるかわからない、ととても身近なものだと感じました。乳がんに関して、検査にも段階があり、治療にも様々な方法があるとわかりました。

ただ怖いというだけでなく、病気を知ることによって病気に立ち向かう準備ができるように思いました。

まずは「きっかけを見つけて」受診すること。あるいは、がん検診を受けること。日に日に年老いていく自分の体と向き合うために。今日をきっかけに友人たちにも検診を勧めたいです。

最後の質疑応答では、よい質問が多数出て勉強になりました。とても有意義な二時間になりました。ありがとうございました。

【参加者・後藤幸子】